

# 高齢者リハビリテーションのあるべき方向

(案)

平成16年1月

高齢者リハビリテーション研究会

## 目次

I	はじめに	1
II	高齢者リハビリテーションの現状	3
1	高齢者リハビリテーションの歩み	3
(1)	わが国における高齢者リハビリテーションの歩み	3
(2)	国際的な動向	8
2	高齢者の状況	12
3	サービスの実施状況	15
(1)	予防	16
(2)	医療	20
(3)	介護	26
(4)	地域リハビリテーションの支援体制の整備	32
(5)	リハビリテーション専門職等の現状	33
III	介護保険制度施行後見えてきた課題	37
1	死亡の原因疾患と生活機能低下の原因疾患とは異なる	37
2	軽度の要介護者が急増している	38
3	介護予防の効果があがっていない	45
4	高齢者の状態像に応じた適切なアプローチが必要	47
IV	高齢者リハビリテーションの基本的な考え方	49
1	高齢者の態様に応じた対策が必要	49
2	廃用症候群の対策の重要性	51
3	生活を支えるという目標	52
4	個別的、総合的なサービスの提供	53
5	評価に基づく計画的な提供	53
6	地域で提供できる体制の整備	54
(1)	地域資源の確保	54
(2)	連携、分担	54
(3)	国民にサービスの所在がわかるシステム	55
7	質の確保	56
8	基盤の整備	56

V	現行サービスの見直しへの提案	57
1	生活機能低下の予防	57
2	医療・介護におけるリハビリテーション	59
(1)	急性期・回復期におけるリハビリテーション(医療保険)	59
(2)	医療保険と介護保険におけるリハビリテーションの関係	60
(3)	各種サービスにおけるリハビリテーション	61
3	地域リハビリテーションシステム	65
(1)	情報と連携	65
(2)	システム	66
VI	必要な基盤整備	68
1	目標の設定	68
2	サービス提供拠点の整備	71
(1)	早期リハビリテーション提供体制の拡充	71
(2)	早期リハビリテーションに続くリハビリテーション提供体制	72
3	人材育成	73
4	研究	74
5	その他	74
VII	国民と専門家に求められること	76
1	国民	76
2	かかりつけ医	77
3	介護支援専門員	77
4	専門職	78
VIII	おわりに	80